

2021年7月27日
株式会社イオン銀行

「国民年金基金」の加入者募集業務の取扱い開始について

株式会社イオン銀行（東京都千代田区、代表取締役社長：新井直弘、以下、当行）は、2021年7月27日より「国民年金基金」の加入者募集業務の取扱いを開始いたします。

昨今、「人生100年時代」と言われる長い老後生活を安心して過ごせるように、自助での資産形成の重要性が高まる中、当行ではお客さまの安心で豊かな将来に向け、ライフプランやご要望に応じた適切な商品をご提案できるように、投資信託やiDeCo（個人型確定拠出年金）、NISA、外貨預金や積立式定期預金、合同金銭信託、保険商品など豊富な商品ラインナップを揃えるとともに、全国の当行店舗やリモート環境で面談いただける「オンライン相談サービス」により、いつでも、どこでも相談を承ることができる環境を整備してまいりました。

今回取扱いを開始する「国民年金基金」は、個人事業主※1の方々を対象に、国民年金（老齢基礎年金）に上乗せして加入できる公的な年金制度です。

掛金が全額「社会保険料控除」の対象になり、税制上の優遇措置を受けることができる他、将来受け取れる年金額を、あらかじめ確認の上ご加入いただくことができ、また、加入口数や給付のタイプを自由に組み合わせることによって、ライフプランに応じた年金額や受取期間を設計いただけるなど、堅実に年金を受け取りたいお客さまにおすすめできるメリットの多い制度です。

当行は、老後資金のための資産形成としてiDeCoの取り扱いも行っており、全国142か所の店舗で365日ご相談が可能であることや運営管理手数料が無条件で0円※2であること等から大変ご好評いただいております。この度の「国民年金基金」を資産形成商品のラインナップに加えることで、リスク許容度に応じたより幅広い老後資金の資産形成のご提案でお客さまのニーズにお応えしてまいります。

※1 国民年金の分類で第1号被保険者に該当する方

※2 別途、国民年金基金連合会および事務委託先金融機関の手数料がかかります。

当行はこれからも、お客さまに「親しみやすく、便利で、わかりやすい」金融サービスのご提供を目指し、お客さまそれぞれの資産形成の目的や資産運用のリスクに関するお考えに寄り添い、ライフプランの実現に向け適切な金融商品のご選択をサポートしてまいります。

以上

国民年金基金

【概要】

1. 国民年金基金の特徴

- ・ 65歳から生涯受け取る終身年金（A型・B型）が基本ですので、老後の生活に備えることができます。
- ・ 加入時の掛金額は払込期間終了まで変わらず、将来受け取る年金額も確定しています。（途中で口数を変更しない場合）
- ・ 掛金をご家族分も含めて全額社会保険料控除、受取る年金は公的年金控除の対象となるなど、税制上の優遇があります。
- ・ 万が一早期に亡くなった際、ご家族に遺族一時金が支給されます。（終身年金B型を除く）
- ・ ご自身のライフプランにあった年金額や受取期間の設計が可能、加入後も年金・掛金の額を口数単位で増減できます。

2. 国民年金基金の制度

- ・ 20歳以上60歳未満の国民年金の第1号保険者の方および、60歳以上65歳未満の方や海外に居住されている方で国民年金に任意加入されている方が加入できます。
- ・ 年金の給付は、年金額の加入口数、年金受取期間は給付の型によって決まります。
- ・ 毎月の掛金は、加入時の年齢、性別、選択する給付の型と口数によって決まります。

3. 取扱店舗

全営業店

4. ご留意事項

【国民年金基金に関するご留意事項】

- ・ 当行は、みずほ信託銀行の代理店として全国国民年金基金へ取次ぎいたします。

【iDeCo(個人型確定拠出年金)に関する留意点】

- ・ 原則、60歳まで途中の引き出し、脱退はできません。
- ・ 運用商品はご自身でご選択いただきます。運用の結果によっては、損失が生じる可能性があります。
- ・ 加入から受け取りが終了するまでの間、所定の手数料がかかります。
- ・ イオン銀行 iDeCo は、みずほ銀行の委託によりイオン銀行が取扱う個人型確定拠出年金プランです。

詳細はイオン銀行ホームページ (<https://www.aeonbank.co.jp/ideco/nenkin/>) をご覧ください。

商号等：株式会社イオン銀行
登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号
加入協会：日本証券業協会